

ロシア文化論Ⅰ

科目ナンバリング EUS-107
選択 2単位

中尾 泰子

1. 授業の概要(ねらい)

1860年代から1920年代までのロシア(ソビエト連邦)の文化状況を中心に扱う。文学、絵画、映画、音楽、バレエなどを切り口に、社会主義革命を経てスターリン時代に至るまでの動乱の時代に生きた芸術家たちの姿に迫る。授業内では積極的にDVD、画集を鑑賞したい。授業の終わりには数回短いレポート(レスポンス・シート)を提出してもらう。なおロシア語の知識は必要としない。

2. 授業の到達目標

- 1.ロシア(ソビエト連邦)の文化について理解を深める。
- 2.芸術を様々な角度から批評する力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

レスポンス・シート50%、期末テスト50%。

4. 教科書・参考文献

教科書

随時プリントを配布する。

参考文献

『集英社ギャラリー[世界の文学]13ロシアⅠ』

『集英社ギャラリー[世界の文学]14ロシアⅡ』

5. 準備学修の内容

メディアライブラリーセンター等を積極的に活用し、講義で取り上げる内容について確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

文化・芸術に関心のある学生に受講してもらいたい。授業中の私語は厳に慎むこと。注意を受けても従わない学生には退室してもらう。なお、レスポンス・シートを提出できなかった場合、いかなる理由にも配慮しないので、就職活動、部活動に関する証明書も受理しません。また、受講者が確定次第、教員が作成する座席表に従って着席のこと。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅠ:1860年から1930年までの政治・社会および芸術の動向 |
| 【第3回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅡ:ドストエフスキー |
| 【第4回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅢ:トルストイ |
| 【第5回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅣ:チェーホフ |
| 【第6回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅤ:ガルシン |
| 【第7回】 | 1860年代から革命前夜のロシアⅥ:バレエ・リュス |
| 【第8回】 | 革命からスターリン時代までⅠ:ブローク |
| 【第9回】 | 革命からスターリン時代までⅡ:エイゼンシュテイン |
| 【第10回】 | 革命からスターリン時代までⅢ:アフマトワ |
| 【第11回】 | 革命からスターリン時代までⅣ:マヤコフスキー |
| 【第12回】 | 革命からスターリン時代までⅤ:フレーブニコフ他 |
| 【第13回】 | 革命からスターリン時代までⅥ:ゴンチャロフ、ラリオーノフ、マレーヴィチ |
| 【第14回】 | 革命からスターリン時代までⅦ:ロトチェンコ、ステパノワ |
| 【第15回】 | まとめとテスト |